



MBニュース



【2017年中国産ぜんまい状況】

丸松物産株式会社

今年の南方産安徽ぜんまいの収穫は4月下旬から始まり、5月下旬に終わったとの事です。安徽省では原料価格が安いため、農家の収穫意欲が減退し、また高齢化も進み収穫する人員も不足して、近年は減産傾向です。これらの要因で、今年は約10%減産と予測されます。

安徽ぜんまい減産の影響か、南方産の四川ぜんまいは増加傾向にあり、以前は10~20トンの収穫量でしたが、今では80~100トンの収穫量があり、品質も向上しています。一方の東北産原料は、6月初旬から収穫され、6月下旬に終える予定です。収穫量は昨年並みと予測されます。

南方産の原料は減産ですが、海外の輸出量も減少しているので、全体の供給バランスは保たれています。今後の東北産の収穫量次第で、製品価格は決まると思われます。

【2017年中国産さくらんぼ状況】

山東省のさくらんぼは開花期を終えて、幼果期に入り、直径は1~1.5mmに達しています。今後、悪天候等の被害を受ける事がなければ、豊作になると予測されます。近年中国では、物流網が発達し、ネット販売も好調で、生鮮さくらんぼの需要が増加しています。この為、農家では生鮮用の品種を主に栽培しているので、加工用原料は、期待できるほどの収穫量はないと思われます。製品価格は6月上旬から中旬に決まりますが、昨年並みと予測されます。ちなみに、弊社の国内工場がある山形産さくらんぼの作柄は、例年並みで、生鮮用のさくらんぼの栽培に専念している為、加工用の原料は少ないとの事です。生鮮さくらんぼの方が利益が良いのか、どちらも生鮮用の原料を主に栽培しており、加工用の原料に力を入れている感じがします。

弊社取扱い製品
4号缶24入り

Mサイズ Lサイズ
47~68個 46個以下



【2017年上海フードデックス】

2017年5月17日~19日に掛けて上海市でフードデックスが開催され、弊社は出展する製品の情報を得る為、展示会を視察しました。

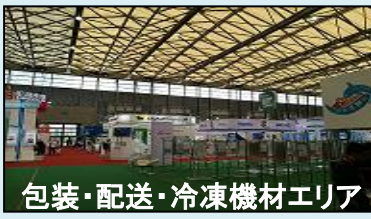
今回のフードデックスは、参加国70カ国、参加メーカー3,200社、来場者8万人で、参加メーカー、来場者は過去最高を記録しました。展示面積も非常に広く、日本のフードデックスの展示面積と比較して何倍も広く感じました。展示会のテーマが輸入向け一般食品と肉類、ワインがメインとなっており、海外輸出向けのブースは少ない印象を受けました。展示しているメーカーは菓子類や酒類が目立ちましたが、日本から出展するメーカーが少ない為、存在感は薄かった。展示会には、包装や配送・冷凍機材のエリアがあり、日本の大手企業が出展していました。



展示会場



アジアエリア



包装・配送・冷凍機材エリア

【お勧め商品情報】

バリ辛めんま



辛くて美味しい
やみつきになる辛さ
お酒のおつまみや
ご飯のおかずに最適

規格400g/12袋×2
賞味期限製造日より6ヶ月
使用上の注意:賞味期限は未開封の状態を基準としています。保存料は使用していませんので、開封後はお早目にお召し上がり下さい。

激辛激ウマ!!



辛ねぎメンマ豆腐乗せ



辛ウマ焼豚丼



激辛タンタン麺



辛めんまナムル風